

博物館に勤めるようになってしばらくしてからのこと、二冊持っているからと村山氏から頂いたのが、もう手に入らないと思っていたこの赤い本なのである。

数年前、読売新聞の記者をしておられる山本氏が“磨いてみませんか。面白いですよ”と10cm鏡材と研磨材一式、それにわざわざ六角形の研磨台まで作って持ってこられた。イロハから手ほどきを受けて初めて反射鏡を1枚磨き上げた。あの頃読んだ様子とはずいぶん変わっていた。研磨材は水分離の必要が全く不要な程に粒子が均一化されているし、紅柄に代ってレンズのつや出しはすりきずの心配が少いセロックスが使われるようになった。同氏のアイデアで研磨台も小さな板切れ1枚。研磨台の周りを廻らなくても板切れの方を廻して作業するといった、きわめて簡単な方法である。

決して上等の出来ではなかったが、月や土星の輪をみ

たときは、自分の力で天体をとらえたような、いい知れぬ感激だった。どうにか鏡磨きの概要がつかめてみると、この赤い本の良さが改めて認識される。

同書は1936年に誠文堂新光社で発行されたもので、まだ研磨材は必ず水分離が常識であったし、鏡面も銀メッキの時代といったように大変古めかしい内容のものである。戦後、一度これの改訂版が発行されていたが、数年前、写真も内容もすべて近代的に新しく生れ変わった「新版反射望遠鏡の作り方」が出版され、反射鏡作りのアマチュアの指導に一役を買っている。

“これは面白いですよ。何とか手に入らないでしょうかね”。よく博物館にやってくる反射鏡磨きの上手な若い学生HさんとIさん、この古い赤い本の頁をめくることがおきまりである。すっかりバラバラに分解してしまうのもそう遠くはないようだ。(国立科学博物館)

日本天文学会昭和47年度春季年会記事

昭和47年度春季年会は5月22日(月)~25日(木)の4日間、東京都文京区本郷東京大学理学部2号館講堂で行われた。講演数124、出席者約300名、座長には次の方々をお願いした。

- 22日 午前 安田春雄, 奥田豊三 (講演数 14)
午後 飯島重孝, 古在由秀 (" 21)
- 23日 午前 大沢清輝, 斎藤国治 (" 15)
午後 田中春夫, 藤田良雄 (" 18)
- 24日 午前 須田和男, 大野陽朗 (" 15)
午後 坂下志郎, 清水 彊 (" 14)
- 25日 午前 会津 晃, 小暮智一 (" 14)
午後 赤羽賢司, 河鱈公昭 (" 13)

なお会期中、理事会、評議員会、懇親会、総会および天体発見賞贈呈式があり、また天文教育懇談会および学術会議報告会(古在学術会議会員による)が併催された。

総会議事録

(5月24日午後3時半~5時半、講演会場で開催)

議長: 奥田豊三理事長

- 次第: 1. 天体発見賞贈呈の件
2. 昭和46年度会務報告
3. 昭和46年度会計報告
4. 昭和47年度予算案
5. 次期評議員改選
6. 牧田理事辞任承認の件
7. 光害規制運動の件
8. 定款改訂についての経過報告

◇ 天体発見賞贈呈の件

原案通り承認され、昨1971年7月10日にケフェウス座新星1971を発見した桑野善之氏に対し、天体発見賞が贈呈された。

◇ 昭和46年度会務・会計報告および昭和47年度予算案が(附録参照)承認された。

◇ 次期評議員改選

評議員会からの推薦に基き、つぎの15名を新評議員に選任した。(任期 昭和47年~51年, *印は重任)
海野和三郎, 大沢清輝*, 大野陽朗, 大脇直明, 川口市郎*, 河鱈公昭*, 古在由秀*, 進士 晃, 須川 力, 須田和男, 高倉達雄, 檀原 毅, 成相秀一*, 林忠四郎*, 村山定男*

◇ 牧田理事辞任承認の件

牧田庶務理事の辞任申出(病気による)を承認した。

◇ 光害規制運動の件

本会会員の青木正博氏、箕輪敏行氏から、両氏らを代表者として組織された「日本星空を守る会」が、環境庁長官あてに提出した「回転サーチライトの即時禁止、一般照明の天空照射規則について」という陳情書の趣旨が説明され、日本天文学会もこの運動に参加されたいという要望がなされた。これに対して理事会側から、5月22日の理事会でこの件について討議決定した方針——本会としては、市民運動としての上記陳情と並行して、専門観測者の立場から、光害規制を訴える理事長名の要望書を作る——が説明され、総会の了承を得た。

◇ 定款改訂についての経過報告

理事会側から、昨年の総会以後の本件についての作業経過（天文月報本年5月号130頁参照）が報告された。改訂定款の理事会案骨子についての一般討論がなされた上で、この骨子は総会で承認され、今後これに基づいて定款の理事会案を作製することが要望された。

〔附録1〕 昭和46年度(1971~1972)会務報告

昭和46年度は、本会創立64年度、社団法人設立後38年にあたる。

本年度に行った事業

(イ) 出版

- 1) 欧文研究報告 (Publications of the Astronomical Society of Japan)

第23巻第2号 152頁(昭和46年5月25日発行)

第23巻第3号 174頁(昭和46年8月25日発行)

第23巻第4号 150頁(昭和46年10月25日発行)

第24巻第1号 152頁(昭和47年1月25日発行)

- 2) 天文月報

第64巻第4号から第65巻第3号まで毎月発行

(ロ) 年会

- 1) 春季年会

昭和46年5月19日~22日 東京大学理学部2号館講堂で開催、講演数106 出席者約250名

- 2) 秋季年会

昭和46年10月26日~29日 豊橋市市民文化会館講堂で開催、講演数87 出席者約200名

総会および評議員会

(イ) 通常総会

昭和46年5月21日 午後2時半より東京大学理学部2号館講堂で開催

議長：宮本正太郎

議題：1. 天体発見賞贈呈の件

2. 昭和45年度会務・会計報告

3. 会費値上げの件

4. 昭和46年度予算

5. 次期理事長・副理事長選出

6. 次期理事指名

7. 欧文報告編集委員委嘱

8. 大塚奨学金選考委員委嘱

9. 会計監査選任

10. 天文学会の改革について

(ロ) 評議員会

- 1) 昭和46年4月24日 午後1時半より東京大学理学部天文学教室会議室で開催

議長：筒木政岐

議題：1. 昭和45年度会務報告

2. 昭和45年度会計報告

3. 会費値上げの件
4. 昭和46年度予算案
5. 次期理事の推薦
6. 欧文報告編集委員の委嘱
7. 大塚奨学金選考委員の改選
8. 会計監査選任
9. 天体発見賞および功労賞
10. 天文学会改革委員会委員長報告について

- 2) 昭和46年5月20日 正午より東京都文京区本郷学士会館3号室で開催

議長：奥田豊三

議題：総会提出議案の確認

そのほかのおもな会務

- (イ) 天体発見賞および功労賞贈呈(5月21日)

阿部 修(1970g, 1970年7月4日発見), 鈴木繁道(1970m, 1970年10月19日発見), 小島信久(1970r, 1970年12月28日発見), 鳥羽健次(1,971a, 1971年3月8日発見)の諸氏に天体発見賞, 佐藤安男, 関勉, 小林徹, 多胡昭彦(1970m)の諸氏には, 独立発見として, 功労賞が贈呈された。

- (ロ) 昭和46年度本会奨励研究生として, 出口修至, 畑中正樹, 中村泰久, 渡辺憲昭の4氏を決定した。(7月1日)

- (ハ) 東京天文台の一般公開を後援した。(10月2日)

- (ニ) 昭和46年度大塚奨学金を, 関舜衛氏に交付することを決定した。(10月27日)

- (ホ) 地球回転に関する国際会議の募金委員会より, 会議運営経費剰余金の一部45万円が本会あてに寄せられた。(11月8日)

- (ヘ) 東レ科学技術研究助成候補者を1名推薦申請した。(11月12日)

- (ト) 学術会議あて, 昭和47年度科学研究費補助金の配分審査委員候補者として, 川口市郎, 赤羽賢司, 弓滋, (以上第一段審査委員), 海野和三郎, 大沢清輝, (以上第二段審査委員)の諸氏を推薦した。(11月12日)

- (チ) 文部省より, 昭和46年度研究成果刊行補助金として, 欧文研究報告に対し37万円が交付された。(11月24日)

- (リ) 学術交流関係会務として, 年会発表者に対する旅費の補助を行なった。

会 員 数 (3月31日現在)

	本年度	昨年度
名誉会員	5	(5)
特別会員	398	(385)
通常会員	1,405	(1,394)
賛助会員	35	(40)

〔附録 2〕 昭和 46 年度収支決算書

(自昭和 46 年 4 月 1 日 至昭和 47 年 3 月 31 日)

日本天文学会
 經常部 (単位 円)

収 入		支 出	
前期繰越金	131,361	欧文報告調製費	3,477,226
会 費	4,342,450	欧文報告複製費	1,023,600
欧文報告販売	1,811,147	天文月報調製費	2,468,025
天文月報販売	572,585	諸印刷物調製費	1,045,950
諸印刷物販売	1,873,339	送料通信費	683,444
印 税	514,690	交 通 費	128,000
利 息	64,012	定 会 費	60,900
雑 収 入	1,450,646	謝 金	466,640
欧文報告出版費	190,000	人 件 費	614,360
文託部省文刊行補助金	370,000	物 品 費	0
		雑 費	467,516
		大塚奨学金	60,000
		大塚奨学金へ基	120,000
		次期繰越金	704,569
計	11,320,230	計	11,320,230

臨時部

収 入		支 出	
前期繰越金	1,265,730	研究補助費	336,000
賛助会費	680,000	学術交流費	155,000
寄 付 付	450,000	人 件 費	190,320
利 息	2,287	送料通信費	69,500
雑 収 入	4,000	雑 費	0
		次期繰越金	1,651,197
計	2,402,017	計	2,402,017

日本天文学会保有有価証券類 金額 2,485,721 円

内訳 大塚奨学金

- { 住友信託 貸付信託 1,000,000 円
- { " 普通預金 157,490 円
- 三菱銀行 定期預金 1,208,231 円
- 電信電話債券 120,000 円

監査の結果、収支決算の正しいことを証明いたします。

昭和 47 年 4 月 5 日 藤 田 良 雄 ㊞
 広 瀬 秀 雄 ㊞

〔附録 3〕 昭和 47 年度収支予算書

(自昭和 47 年 4 月 1 日 至昭和 48 年 3 月 31 日)

日本天文学会
 經常部 (単位 円)

収 入		支 出	
前期繰越金	704,569	欧文報告調製費	3,200,000
会 費	4,000,000	欧文報告複製費	500,000
欧文報告販売	1,800,000	天文月報調製費	2,450,000
天文月報販売	500,000	諸印刷物調製費	1,000,000
諸印刷物販売	1,400,000	送料通信費	900,000
印 税	500,000	交 通 費	150,000
利 息	30,000	定 会 費	80,000
雑 収 入	950,000	謝 金	500,000
欧文報告出版費	250,000	人 件 費	1,270,000
文託部省文刊行補助金	460,000	物 品 費	0
		雑 費	544,569
計	10,594,569	計	10,594,569

臨時部

収 入		支 出	
前期繰越金	1,651,197	研究補助費	336,000
賛助会費	670,000	学術交流費	200,000
文託部省文刊行補助金	100,000	人 件 費	130,000
		送料通信費	50,000
		欧文報告製	450,000
		総索引調製	500,000
		事務移転関係費	755,197
計	2,421,197	計	2,421,197

雑 報

天文研連委

第 9 期天文学研究連絡委員会の委員が次のように決まり、第 1 回の委員会は 7 月 11 日に開かれた。

青木信仰、赤羽賢司、飯島重孝、海野和二郎、大沢清輝、奥田豊三、川口市郎(幹事)、河鱈公昭、小暮智一、古在由秀(幹事)、清水彊、進士晃、末元善三郎(幹事)、高窪啓弥、高倉達雄、高瀬文志郎、田中春夫、林忠四郎、一柳寿一、古畑正秋、宮本正太郎(委員長)、守山史生、弓滋(50音順、敬称略)。